

# MONTHLY REPORT

事務局／岐阜県羽島市堀津町横手3-80 株式会社今井製本内 TEL (058) 398-2034  
 会長／今井修一郎 副会長／山北 将誉・高田 華子 総務渉外・広報委員長／森 智  
 ぎふ印刷翠陽クラブHP <http://www.gpjc.net/> 全国印刷緑友会HP <http://greenfriends.jp/>

ぎふ印刷翠陽クラブ  
 マンスリーレポート  
 2016.4 No.540

## 「*Reboot* (再起動) ~未来に向けて~」

会長 今井 修一郎



会員の皆様、並びにOBの皆様方におかれましては益々のご清栄の事とお喜び申し上げます。平素より当クラブの活動に多大なるご理解とご協力を頂き、誠に有難うございます。

この度、11月臨時総会に於きまして野口前会長より会長に任命されました今井です。

私がぎふ印刷翠陽クラブに入会致しましたのは今を遡ること20年、平成8年4月、当時の会員数はなんと約60名の大所帯でした。この業界に入ったばかりで右も左も分からない私に先輩方は時に優しく、時に厳しくご指導をして下さりました。先輩方から学んだ事は仕事、遊び、人生、男の生き様等、一言では言い表せません。会長という大役に任命された今こそ、先輩方に受けたご恩をお返しする時だと思えます。

毎年新年会長が掲げる年間テーマですが、今年度は表題に有ります「Reboot (再起動) ~未来に向けて~」を掲げさせて頂きます。

時は過ぎ、私の入会時に比べると今は随分会員数が減少してしまいました。

数が減ったから結束が弱く感じるのか？ 結束が弱いから数が減るのか？ 理由はどうあれ会員数の増強、結束の強化はクラブの最優先課題であります。

そしてもう一つの課題は、岐阜県青年印刷人の会との関係を今後どういった形に昇華させていくかという事です。

その二つの課題を解決していく手段は、ぎふ印刷翠陽クラブとはいったい何か？ その根本に向きあう事で見つかるのではないのでしょうか？ 組合の下部組織ではなく任意団体として、印刷という業界を中心にしたフラットな円卓に集いし我らは、何物にも縛られず、どこまでも自由です。そして自由が故に自分たちでこの難局に対応していかなければなりません。

来たるべき創立60周年に向けて、ぎふ印刷翠陽クラブの変えるべきところは変え、良いところはそのままに今ここで再起動し、未来に向けて再び歩み始めようという意味を込めさせて頂きました。

研修委員会は今まで聴いたことも無いような、より知識が深まる例会を。

親睦委員会は今までやったことが無いような、より親睦が深まる例会を。

広報委員会は今まで見たことが無いような、より美しいマンスリーを。

総務渉外委員会は今まで以上に、より円滑な会全体の運営を。

魅力あふれる例会、そして協同しあえる仲間と共に、翠陽クラブに入っていて本当に良かったと思える、そんな一年を創り上げていきましょう。

まだまだ若輩者の私ですが、どうかご協力宜しくお願い致します。

Reboot  
 SAIKIDOU 2016  
 ~未来に向けて~